

超

流

動

モ

ル

タ

ル

一発くん

床下地用モルタル混和剤(粉末樹脂入) 塗厚10mm~30mm

一発くんは、プラント練り生モルタル、もしくは左官練モルタルを基材にした材料に、現場混入攪拌することにより、超流動モルタルになり、セルフレベリング作業、又は床モルタル作業と同じ用途で使用できます。軽量で作業性に優れ、しかも施工現場で投入し混ぜて練るだけですので、工期の大幅な短縮が図れます。

コテ仕上げ不要!!

翌日歩行可能

特長

優れた水平性

セルフレベリング性が優れているので、熟練技術を要することなく水平精度の優れた床面が得られます。

材料管理が容易

(1㎡当り、一発くんA剤1袋、B剤1本)

厳しい品質管理のもとで生産された混和剤ですので、安定した品質の超流動モルタルが得られます。さらに必要な材料は、普通モルタル材だけですので施工現場サイドで管理が容易です。

高い施工効率

施工箇所に流し込み、均すだけで施工効率が高く、大面積の施工も容易でローコストで工期の短縮が可能です。

幅広い用途

普通モルタルまたは、生モルタルを使用することにより、耐久性・耐衝撃性・圧縮強度等に優れています。従来のモルタルを使用することにより、定木ずり・木ゴテ押え・金ゴテ押えも必要なく、優れた床面が得られます。さらに、塗厚10mm~30mmの幅広い施工が可能で、現場のさまざまニーズに対応できます。

◎プラント練り生モルタル使用時の配合 (ミキサー車)

セメント	600kg
砂	1,200kg
水	340ℓ
練り上がり量	1,000ℓ

注意 事項

- ・上記指定量で必ず練り上げて下さい。
- ・本来のプラント基準であるモルタル等はセメント・砂のバランスが異なるため、薬材が効きませんのでご注意ください。

用途

- Pタイル、長尺シート、クッションフロア、木質系床材等の張り床の下地
- 畳、カーペット等の敷き床の下地
- 雨にたたかれたコンクリート床面の補修。(要相談)
- その他、床の不陸修正
- 適用下地はコンクリート、モルタル等

応用編

- トランクルームなどに流し込む
- バイパススペースなどに流し込む
- 鉄骨階段に流し込む
- 踊り場鉄骨の足元に無収縮材として流し込む
- その他、使い方によって色々応用できます

標準仕様

1㎡当りの施工面積	
施工厚み(mm)	施工面積(㎡)
10	100
15	75
30	37.5

超流動性モルタルの物性

試験項目	試験結果	試験方法	
フロー値(cm)	20.5	JASS 15M-103 * (国土交通省官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」セメント系セルフレベリング材の品質規準)による	
凝結時間(時間-分)	始発		4-53
	終結		8-05
圧縮強度(N/mm ²)	40.0		
下地接着強度(N/mm ²)	2.0		
表面接着強度(N/mm ²)	1.1		
長さ変化(%)	0.076		
耐衝撃性	割れおよびはがれはなし		

注※:試験環境は、20℃での参考値です。※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

施工方法

下地処理 (清掃)

- 下地の清掃は、掃除機等を使って十分にホコリやゴミを除去して下さい。
また、レタンス・油などの付着阻害物は完全に除去して下さい。
※除去が不完全な場合、プライマーを塗布しても所定の接着強度が得られずクラック、剥離の原因になりますのでご注意ください。
※下地コンクリートの弱いところ及び突起物は取り除いて下さい。
※壁の立上り部や電気配線孔等の隙間は、モルタルやコーキング材で塞いで下さい。
※僅かな隙間でも材料は流出しますのでご注意ください。



下地処理 (プライマー塗)

- プライマーは、SL材専用プライマーをご使用の上、必ず一発くん打設の前日に2回塗布して下さい。
- 1回目塗布後、SL材専用プライマーが乳白色から透明になってから2回目を塗布して下さい。
※1回目と2回目の塗布間隔は夏期1~2時間以上、冬期3~5時間以上を目安に塗布して下さい。乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布を行い、ホコリ等の付着がないように養生して下さい。
※施工直前の塗布は剥離の原因となります。 ※ゴムベラ・スプレー等による塗布は避けて下さい。



練混ぜ

- モルタルの数量を確認し、『一発くん』をスラリー状に高速攪拌機で練り上げて下さい。
- 『一発くん』をミキサー車に投入し、3分~5分攪拌して下さい。



一発くん 打設

- アジデータ車からモルタルポンプのホッパーに流動化モルタルを下ろし施工箇所までポンプ圧送し、部屋の隅から順に広げるように流布しながらレベルに合わせて土間鏝等で均して下さい。
- 打継は打設後15分以内を目安とし、平滑に均して下さい。



ポンプ圧送
材料に先立ちセメントのノロを送り込みバケツ等で受け、施工面には流さないで下さい。



流し込みと定木、均し
隅から順に流し込み、トンボ等を使ってレベルに合わせて平滑に仕上げます。

養生

- 打設終了後24時間(冬季48時間)は、直射日光・急激な乾燥・振動・衝撃等を避けて下さい。
- 仕上材施工までの養生期間は10日(冬季は14日)以上とし、硬化後はできるだけ乾燥条件をよくして下さい。
- 通常は、施工翌日(24時間後)に軽歩行可能ですが、冬期は30時間以上かかる場合もありますのでご注意ください。
※仕上材施工をする場合、十分に乾燥(目安として含水率8%以下)していることを確認して下さい。
※仕上材までの工程間隔が1ヶ月以上かかる場合は、養生シート、合板等で養生をおこなって下さい。



硬化するまでは窓等を締めて急激な乾燥を防いで下さい。硬化後はできるだけ乾燥条件をよくして下さい。

ご注意

- ① 必要に応じてポリッシャー掛け、不陸調整を行って下さい。
- ② 一発くんは、これまでのモルタル押えの手間を大幅に短縮するために開発された製品で、SL材と同じものではありません。
- ③ モルタルに使用される細骨材の品質により流動性、仕上りが変わります。ご使用前に当社にお問い合わせ下さい。
- ④ 生モルタルの配合は、セメント600kg・砂1,200kg・水340ℓの数量指定で発注して下さい。

使用上の注意

- ・ 水ぬれ及び湿気のある場所には保管しないで下さい。
- ・ 開封後は直ちにご使用下さい。
- ・ 混練後はなるべく早めにご使用下さい。
- ・ 他の材料との混用は厳禁です。
- ・ 流動性を失ったモルタルに再度水を加えて使用するのは避けて下さい。
- ・ 10mm以下の施工は避けて下さい。
- ・ 気温が5℃以下又は35℃以上になる場合は施工を避けて下さい。



安全上の注意

- ・ 本製品を取扱う時は、メガネ・マスク・手袋等の防護処置を行って下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、速やかに水と石鹸で十分に洗い流し、必要に応じて医療処置を受けて下さい。
- ・ 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼し、医療処置を受けて下さい。
- ・ 吸入した場合は、速やかに清水でうがいをし、必要に応じて医療処置を受けて下さい。